

報道関係者各位

彦根藩湖東焼 たねや美濠美術館 特集陳列のお知らせ

株式会社たねや（本社：滋賀県近江八幡市、社長：山本昌仁）は「たねや彦根美濠の舎（滋賀県彦根市）」に併設の『彦根藩湖東焼 たねや美濠美術館』の展示替えをいたします。

展示期間は5月22日～9月中旬までを予定。

『彦根藩湖東焼 たねや美濠美術館』は、2003年9月の開館以来、地元・彦根の良きモノ＝湖東焼をより多くの方々にご覧いただき、後世に伝えていければと願い、年に数回、趣向を凝らせた展示替えを行っております。

江戸後期から明治中頃までの約70年間に歴史を刻んだ彦根藩井伊家に深いゆかりのある湖東焼。多彩に、かつ華麗な品々も多数あり、現代にも逸品が残されています。

テーマ「湖東焼-自然齋という赤絵師-」

期間：2015年5月22日（金）～2015年9月中旬（予定）

注目作品「自然齋作 色絵花鳥春秋七草図棗形茶器」

（じねんさいさく いろえかちょうしゅんじゅうななくさずなつめがたちゃき）

自然齋は中山道鳥居本宿の人で、家は「米屋」という旅宿を本業としていました。

氏を岩根、名を治平のちに治右衛門と称し、自然齋の号は「自然に生きよ」という意味で井伊直弼公から賜ったと伝えられます。別号には「誠有^{せいゆう}」や「雪香亭^{せつかてい}」、また自ら上絵付けを行った窯場を「錦霞焼^{きんかやき}」と呼んだことから、「錦霞磁^{きんかじ}」、「錦霞亭^{きんかてい}」の号も用いていました。直弼公の絵の師匠である藩士の中島安泰^{あんたい}に師事し、古くから直弼公との交流もあったとされる彼の作品は赤絵金彩が多く、色絵は2割ほど。軽妙な筆づかいで繊細な人物や花鳥・山水などを描いた作品には、直弼公から特注されたと思われるものも多く見られます。

- 名 称／「彦根藩湖東焼 たねや美濠美術館」
- 作品展示数／52点
- 場 所／滋賀県彦根市本町1-2-33 たねや彦根美濠の舎内
- 電 話／0749-24-5511（代）
- 開館時間／10:00～17:00 不定休（年末年始および展示替え期間中）
- 入館料／500円（税込）

※なお、湖東焼についての詳しいご説明が必要な場合は、美術館担当者・杉岡がご案内させていただきますが、

土・日・祝日のみの対応とさせていただきますので、勝手ながらどうぞよろしくお願いいたします。

* 注目作品「自然齋作 色絵花鳥春秋七草図棗形茶器」の画像データをご用意しております。取材・掲載をご希望の方はご連絡くださいませ。



取材に関する問い合わせ先

たねやグループ 事業部 広報室 担当：鷺尾（わしお）・村崎（むらさき）
 TEL：0749-49-5940 FAX：0749-42-5770 e-mail：press@taneya.co.jp
 ※ご取材いただけます場合は事前にご一報いただきますようお願い申し上げます。